土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　その他河川　中小坪川　通常砂防事業に伴う業務委託（測量調査設計）

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	Bor.No.4	**調査位置**	広島県呉市広小坪一丁目 地内			**北緯**	34° 12′ 29.4194″
発注機関	広島県西部建設事務所【呉支所】			**調査期間**	2020年 9月 29日 ～ 2020年 10月 1日	**東経**	132° 38′ 17.5269″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 52.14m	**角度**	180° 上下 90° 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90°
総削孔長	7.00m	**使用機種**	**試錐機**	東邦地下工機製 D1-B58型			
			エンジン	ヤンマー製 NFD9-K型	**ポンプ**	東邦地下工機製 BG-3C型	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1	50.74	1.40		礫シルト混り砂		暗茶	中位の			φ20～30mmの角礫を含み、細粒分がやや多い砂質土	
2	48.74	3.40		粘土混り砂礫		暗灰～褐灰	rd5			最大φ10cmの大礫を含み、礫間は粘土混じり砂～細礫で礫間を埋めておりよく締まっている。	09/30 2.14
3	45.14	7.00		砂岩		暗成敗				砂岩が優勢なホルンフェルスである。 6.0mまでは網目状に発達した亀裂面が参加して褐色となるが、岩質は硬質。（CL～cm） 6.0m～7.0mは硬質で細粒の砂岩ホルンフェルスで、白色の石英脈と黒色の泥質部が縞状に発達している。5～10cmの柱状コアで採取される。（CH、RQD42%）	10/01 3.81

標準貫入試験

深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	N値
1.15	4	4	42	50/250	250		60
1.40			50				
2.15	4	46		50/130	130		115
2.28		30					
3.15	6	10	34	50/230	230		65
3.38	50		30	50			
4.00	0			0			
4.00							
5.00	50			50			
5.00	0			0			
6.00	50			50			
6.00	0			0			
7.00	50			50			
7.00	0			0			

深度－N値図　0　10　20　30　40　50

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					9/29
					9/30
					10/1